# 第1章 | 地域ケアサービス推進事業概要

### (1)目的と研究方法について

#### 〇目的

「平成31年度障害者地域生活移行促進事業 地域ケアサービス推進事業」(滋賀県補助 事業)の一環として、誰一人取り残さない共生社会づくりに向けて、芸術鑑賞会をきっかけに、障害のある人の様々な場面へのアクセシビリティの向上と合理的配慮の進展につなげていくことを目的としています。

鑑賞会の企画過程で浮上したニーズに対応し、必要な支援や配慮を実践し、それを広めることで、芸術のみならず、さまざまな場面へのアクセシビリティの拡充をねらいとしています。

#### 〇 研究方法

高次脳機能障害、盲ろう、発達障害・軽度知的障害、それぞれの障害のある人を対象とした芸術鑑賞会を開催しました。企画段階から障害当事者や支援者にお話を聞きながら鑑賞会を組み立て、支援者の協力を得て実施しました。実施した鑑賞会について参加者の評価をもとにアクセシビリティの拡充における成果と課題を考察しました。芸術鑑賞会の開催にあたっては、ボーダレス・アートミュージアムNO-MA(滋賀県近江八幡市)の企画展を活用しました。

なお、できるだけ障害がある人もない人もともに楽しめる鑑賞会とすることで、自然 に相互理解が生まれる場とすることにも努めました。

## (2) 本書における「アクセシビリティ」について

アクセシビリティとは、高齢者や障害者なども含めたあらゆる人の、情報やサービス へのアクセスのしやすさという意味で使われるのが一般的です。

しかし、本書においては、「平成31年度障害者地域生活移行促進事業 地域ケアサービス推進事業」の要綱にならい、障害のある方の社会参加のしやすさという意味で使っています。

# (3)「ボーダレス・アートミュージアムNO-MA」について

滋賀県近江八幡市の重要伝統的建造物群保存地区にある、昭和初期の町屋を改築した美術館です。社会福祉法人グローが運営しています。この美術館の特徴は、障害のある人と現代アーティスト等の作品をともに見せることです。人が表現することは、障害のあるなしに関わらず誰にも共通していることを感じていただき、「障害者と健常者」をはじめ、様々なボーダー(境界)を超えていくという実践を試みています。こうした場であるからこそ、今回のような芸術鑑賞会を開催する最初の場として適当と考え、NO-MAの企画展を活用しました。

※本文中の略称について NO-MA……ボーダレス・アートミュージアム NO-MA



ボーダレス・アートミュージアム NO-MA



八幡堀の風景